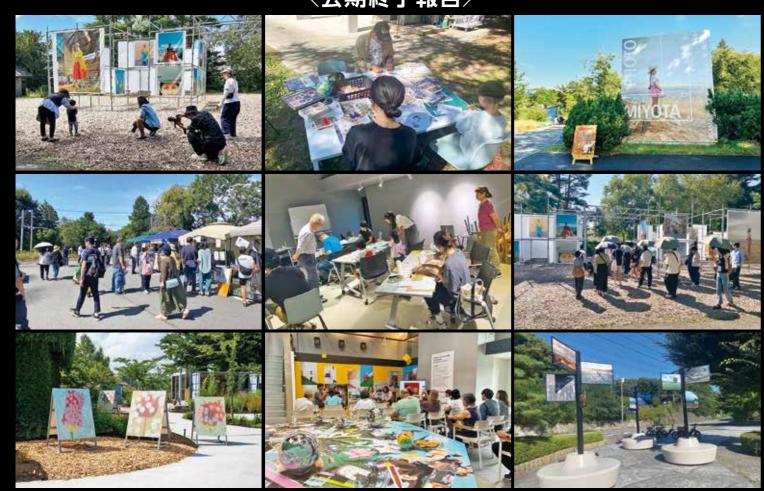
## 浅間国際フォトフェスティバル2025 PHOTO MIYOTA 会期終了報告/



今年も浅間国際フォトフェスティバルを開催し、53日間の会期を終え9月30日(火)に閉幕しました。 国内外から参加した17組の作家による約300点の作品を屋内外にさまざまな形で展示しました。 会期中はイベントやワークショップ、みよたコーヒーウィークエンドなどを開催しました。 また、元気づくり支援金事業として、エコールみよたと龍神の杜公園に展示型のベンチを設置しました。 今後もフォトフェスティバルの開催を楽しみにしていただけるよう、町民参加型イベントの企画や魅力ある 事業となるよう改善に努めてまいります。

### 《浅間国際フォトフェスティバル実績報告》

8月2日(土)~9月30日(火)

●作 家 17組

のべ53日間(水曜定休、8月13日(水)除く)

●作品数 約300点

場 MMoP(モップ) ●来場者数 3万3,585人

●公式インスタグラムフォロワー数 6.195人

	主なイベント	等 ※一部抜粋、ワ	リークショップを"WS"と表記しています。
イベント名(ワークショップ、マルシ	/ェ等)	日程	参加者・出店者
展示作品ガイドツアー		8月11日・9月6日	参加者約35名(2日間)
カロリナ・ウォイタス トークイク	ベント	8月26日	参加者 約17名
「ものづくりWS」 濱野皮革工藝レザークラフト/土	染め	8月30日	WS参加者約80名
小原 一真 トークイベント		8月31日	参加者15名
mamamo キッズ撮影会		9月6日	参加者 27組(約90名)
「カメラの原点を学ぼう!〜カメラ・オブ ワークショップ	スキュラ〜」	9月6日	参加者10組(22名)
MIYOTA COFFEE WEEKEI by NAGANO COFFEE FESTI		9月20日・21日	24店舗出店 来場者 約5,200名(2日間)
見えない人・見えづらい人との展示鑑賞を考え	るモニターツアー	9月21日	約9名(関係者含む)
「撮って、切って、貼って、コラージュ作品をる ~ COLLAGE DE MIYOTA~」ワーク	みんなで作ろう! ショップ	9月27日・28日	WS参加者 34組(約80名)
小学生対象「ガイドツアーとチェキカメラ	ラを学ぼう」	9月29日	47名

#### 問い合わせ先 産業経済課地域振興係(32)3113

合わ

, ただきまし<sub>1</sub> 町表彰条例! 代田町 感謝状と記に展して尽力 足小沼

年9

**5** 

念

自

治

功

労

表

止に貢献してい町内交通渋滞・通勤・通学・

坂井

達也

代表取締役社長 )振興に貢献して道路事業用地の (寄**增**)

株式会社 郎

●土地開発公社監事16 神 神 4 **津** 義

たました。 である9月3日(火)に

名

松增古藤中中髙亀

浦田田本田田橋井

正松暁大泰元幸英

洋将人助彦子毅志

様様様様様様様様

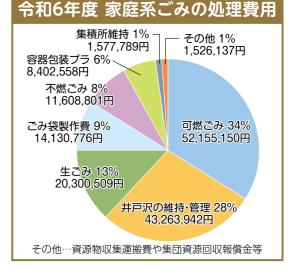
総務課行政係(32) 3

# これだけかかっています。

### ごみ処理における収入と支出

町民の皆さんの日常生活を支えるごみ処理には多くの費用がか かります。令和6年度に出た町の家庭系ごみは2,125tとなり、処 理にかかる費用は約1億5,290万円に上ります。これを町民一人 当たりに換算すると年間約9.113円の費用がかかっています。

この費用は税金のほか、町民の皆さんにご負担いただいている ごみ処理手数料(ごみ袋代の一部等)や回収した新聞紙等の資源物 を売った収入で賄っています。令和6年度の家庭系ごみにおける 収入は、手数料を含めたごみ袋代約1,630万円、資源物の売り払 いによる収入約930万円等で合計は約2,610万円でした。



### 分別の効果

分別されずに可燃ごみとして処理されている容器包装プラを1kg分別すると、処理費用を約29円削減できま す。例えばプラスチックの弁当容器はふたと併せて約25gです。町民全員がこの弁当を食べ、容器を分別した とすると総重量は約420kgとなり、約12,180円削減になります。また、処理費用の削減だけでなく、地球 温暖化対策の効果もあり、CO₂排出量に換算すると約1,260kg削減することができます。そのほかにもリサ イクルによる資源の有効活用、焼却施設や埋立処分場の延命化などの効果が期待できます。

日々の少しの行動が、大きな成果につながります。皆さんのご協力をお願いします。